

出席者) 委員長 加藤和雄(議長) 副委員長 小坂博司 事務局 斎藤明
委員 五十嵐孝 小柳肇 若月学 渡辺良一 小川徹 長谷川健吉

その他に傍聴していた議員 稲垣富士雄、佐藤真澄、石山洋子、青木泰俊、中村功、宮村幸男

答弁のために出席した執行部 坂上政策調整監 杉本企画政策課長、高沢副参事 野崎課長補佐

1) 杉本企画政策課長より経過報告と今後のスケジュールについて

- 6/3 全員協議会で基本計画承認、27年度完成を目指す
- 6/14 総務常任委員会で基本設計委託料についての補正予算案可決
- 6/17 広報にてパブコメ募集と市民セミナー開催の告知
- 6/24 本会議で同予算案可決
- 6/25 国土交通省より計画案採択の通知
- 6/28 商工会議所より駅前移転断念の返答あり。コストがかかりすぎ会員に負担をかけるのが理由
- 7/2 市、商工会議所、NPOの三者で協議
- 7/6 セミナー開催 60人ほど参加。多数の意見をいただく。講師から「歴史的遺産を大切に」とアドバイスを受ける
- 6/20
~7/19 パブコメ募集 57件506名 内容は資料①に。
多くの意見を受け、基本計画の整備検討中である

*今後のスケジュール 資料②

- ・8月中に意見をとりいれて基本計画をまとめ上げる(施設の検討、管理運営の検討)
- ・基本設計審査会の委員は当初より増やして、学識経験者2~3人を含む総勢13~14名の予定
- ・25日にワークショップをやり市民の声を聞く(設計業者主催で施設の機能や設備について)
- ・審査会の意見を業者が取りまとめ再提案する 資料③
- ・ワークショップには高校生の参加も図れるようにしたい
- ・子どもセンターについては子育て世代の便宜を図りいきいき館でもワークを実施したい

↓ ↓

それらを11月までに取りまとめ12月中に市長に提出、26年1月から実施設計に入り、年度後半から着工したい

- ・用地買収については全員協議会で説明済み。2社が所有、諏訪神社側の391㎡は8月中に締結
1970㎡は市有地との交換を行う。国交省も了承。
- ・民間の業者が行うリノベーション事業にも市から間接補助、国から半分お金がでる

2) 質疑応答 (応答のうち特に記載がないものは杉本課長が答弁したもの)

◎渡辺良一議員

① パブコメ 57 件 506 名の内容は？賛成反対はどういう判断で当てはめたのか？書いた人への返事、対応はどうするのか？またそれをどう計画に反映させるのか？

⇒署名付きのものが 3 件あった。代表 + 10 名のものと代表 + 15 名のもの、この 2 件は計画に賛成、代表 + 406 名 これは 9 のところ（提案を含む）に該当
これらの意見は今後、取り入れられるもの、取り入れられないものを整理検討し、議会に報告してから提出者に返す。

② 市民セミナーは質問が沢山あったのに打ち切りになったという話を聞いたが、なぜそうなったのか？

⇒セミナーは意見を聞く会ではなく説明と講演がその趣旨だった。進行もそのように言ったはず。時間は足りなかったかもしれないが趣旨をよく理解していない人もいた。意見はパブコメにして出してほしいと言った。

③ 商工会議所便り（8/1 号）によると昨年の暮に市が駅前進出を要請したとあるが、不参加となったその内実を詳しく聞きたい

⇒市の方から会議所に入ってくれと頼んだわけではない。「会議所も駅前に出て街づくりに協力したらどうか」と持ちかけたのだ。しかし会議所の（会員のための）建物ではリノベーション事業の対象にならず補助金が得られないとわかったので会員負担が大きくなり厳しい。街づくり会社の設立なども検討したがまだ立ち上がっていないので難しい。これからも街づくりの先頭に立って行く所存だが駅前進出は断念した。

④ 用地交渉についてが分かりにくい。どこを買収して、どこが交換になるのか？パスを出してほしい。

⇒大手の業者（A 社）とは用地買収は詰めの段階（諏訪神社側）事業展開する市内の業者（B 社）とは市有地と交換する

⑤ 設計業者はどこになるのか？どういう中身で入札を受け付けたのか？

⇒ 今日（8/6）の午後入札で決まる。入札の条件は行政棟については①管理面②技術面、③図書館の設計について実績のある業者、とした

○渡辺 （2回目以降「議員」は省略）

*①セミナーの案内に不備があったのでは？複合施設の説明をするということが市民にはわからなかった。

⇒広報の本文には載せた。不十分ではないと思う。

*②2月の市長答弁では「全部の施設が入るのは難しい」ということだったが計画ではそれがすべて入っている。駐車場も含めて全部入れることができるのか？ここにあげた施設は確定か？

⇒大丈夫と判断して整備計画を進めた。施設全体で約 6000 m²、図書館部分は約 4000 m²の予定。駐車場は 100 台程度は確保できるだろう。足りなければ周辺用地も活用する。

*③土地利用のパスをすぐに出してくれ。リノベーション事業と特例債で 22.5 億の総事業費となっているが、あるフリーペーパーでは 4 億とも出ている。見直しはあるのか？概算でどれくらいか？

⇒国から 50%で 11.3 億（リノベ） 合併特例債を残りに充当 10.6 億

↑

15 億で試算していたが
これですむ

◎長谷川健吉議員

- ① パブコメの57件というのは他に比べて多いか少ないか？募集期間が短かったのではないか？もっと長い期間で意見を聴きとることはできないか？坂上政策調整監に聞きたい。
- ② 複合施設についての意見は主に図書館についてではなかったのか？
 - ⇒ 市民の意見を聴けという声にこたえて（当初は予定の無かった）ワークショップをやることにした。この計画で進める。（by 坂上）
 - 57件の意見書はこれまで比べて少し多い。署名付きのものも初めてである。駅前の複合施設についての意見が多かった。しかし反対意見が大半を占めているわけでもなく、意見は計画に反映させるが、計画はパブコメの多い少ないだけで決まるものでもない。（by 杉本）
- ③ なぜ商工会議所を複合施設の中に入れようとしたのか？
 - ⇒当初は複合施設そのものの管理も商工会議所に打診したが、図書館の管理運営までやるのは難しいということで断念された
- ④ 商工業者のアンケートというのとは何か？
 - ⇒ 基本計画案38ページに出ている
- ⑤ 図書館の構想は委託方式か直営方式か？
 - ⇒ 担当である教育委員会の方で検討しこれからの図書館についてまとめを出した。教育委員会としては今の段階では直営と考えている。今後意見を取り入れて変わるかもしれない。
- ⑥ 他の合併特例債事業との兼ね合いはどうなっているのか？シュミレーションを出してほしい。
 - ⇒ 当初の計画より圧縮できそうである

○長谷川

外部委託の話も聞こえているがそれはどうなのか？複合施設の中では静かに学習できないという声もある。市民との対話のスケジュールはこのようにぐんぐん押していくのではなく、機会と場所を持ち十分に市民の声を聴くようなスケジュールに余裕を持ってほしい。

○渡辺 進行上の提案だが、今後のスケジュールとこれまでの経過に分けて審議してほしい。

◎五十嵐孝議員

- ① 全員協議会で承認したのは商工会議所に期待していたからだ。会議所が抜けたことで計画の変更はないのか？全員協議会は意思決定の場ではないのだから
 - ⇒ 変更が出る可能性も含みながら意見募集した。意見を取り入れながら最終結果として変更はありうる（ここで質問者が制止。以後の答弁は政策監のメモを見せられながら）確固たるものとしてやっていく。基本は変わらない。
- ② 入札は何社が対象か？
 - ⇒ こちらの担当ではなく手元に資料が無いのでわからない。

◎小柳肇議員

- ① 商工会議所と図書館の2本柱だったはずなのにその1本の柱である商工会議所がボツになったことをどう説明するのか？
 - ⇒ 2本柱というとはしてはいない。課長レベルの判断としては断念されたのは本当に残念である。区分所有とか、単独とか、テナントという形も検討したが結果としてむずかしかった。

○小柳

*①市民の感覚に対して丁寧な説明が必要。どの時点から会議所の態度が変わったのか？

⇒市の側からお願いしたのではない。「市街地活性化のために先頭に立っているのだから駅前に出てきてはどうか」と言った。会議所は当初から「課題が整理されたら（可能）」と言っていた。街づくりの先頭に立つ気持ちは変わらない。財政を考えて商工会議所が決めたことだ。

○渡辺

*④今後のことで A リノベーション事業の対象範囲はどこまでか？駅前だけなのか？

B 図書館単独で建てる場合も対象になるか？

⇒ エリアについては駅及びバス停を中心にして1キロメートルの範囲なので現図書館エリアぐらいまでは入る。他の事業もリノベーションで取り上げる事はできるのでやっていこう。リノベは学校や博物館などの施設が盛り込まれなければ認められない。

*⑤経過のことで

計画があまりにもスピード出しすぎだ。2月議会で市長の報告があり、高校生のたまり場とミニ図書館程度であったのが6月議会で急に変わった。武雄市の例なども出して本格的な図書館を作るつもりになっていた。議員も合意していないのだから市民はもっとびっくりしている。図書館をどこにどう作るのいいのかは今後何十年先のことも考えなければいけない。歴史的には坪川さんの寄付した現在の場所だと思う。あまりに急ぎ、拙速のきらいがある。特例債の財源の関係で期限が切られているのは分かるが、本来基本計画を議会に出してから議論していくべきだ。あとは設計業者主催のワークショップしか市民の声を聴く機会がないではないか。場所の問題も含めた意見交換の場を並行して補足的に作っていかないと（ちゃんと聞かないと）市役所の時のようにハレーションを起こし市政にマイナスになる。禍根を残す。

⇒6月の委員会で言われ、審査会委員を増員した。またワークショップも追加した。ワークショップには発注元である市の職員ももちろん行く。パブコメで出た意見は可能な限り取り入れていこうと思っている。これからも継続して意見をいただくのは当然であり、排除はしない。

○渡辺

ワークショップは「場所は（駅前）で決定」という前提でやられるわけである。そもそも活性化に図書館をあてはめられるのか？

市民の声を聴く耳を持って！ワークショップ以外の方法も考えろ！市長も出てきたらよい。

○長谷川

*①確認だが、その中に現図書館は必須か？新図書館を本館として別にリノベで作ることはできるか？

⇒立て替えなら対象になるが、増築のみは難しい。現在の場所で立て替えとなると民有地もあり駐車場用地として取得している関係もあり無理である。教育委員会の考え方は現図書館を本館、駅前を分館としている。

○渡辺

議会としても早急に対応していきたい。